

**2025年 9月改訂(第5版)

*2021年 9月改訂(第4版)

機械器具 6 呼吸補助器

管理医療機器 加熱式加湿器(JMDNコード 12050000)

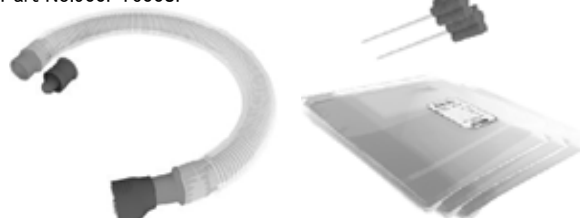
「フロージェネレーターAirvo」の付属品

AIRVO用消毒キット(900PT600JP)、消毒フィルター(900PT601)

【形状、構造及び原理等】

* 1. 形状

Part No.900PT600JP

消毒チューブ(×1)、消毒フィルター(×1)、
洗浄用スポンジ棒(×2)、清浄保管用カバー(×3)

Part No.900PT601



消毒フィルター(×2)

本品に天然ゴムラテックスは使用していない。

2. 動作原理

エアフィルターを通して室内空気をブロワーで取り込むとともに、必要に応じて施設の医療ガス供給システムまたは酸素ボンベからの酸素を酸素治療フローメーター等(本品に含まれない)を介して酸素吸気ポートから取り込み、空気と酸素の混合ガスを加湿チャンバーに送る。本体のヒータープレートを加熱することにより加湿チャンバーの水から水蒸気を発生させて空気または混合ガスを加湿する。飽和状態に近い加湿ガスを送気チューブに流し、送気チューブのヒーターワイヤーにより温度を制御して加湿状態を保つ。温度およびフローをモニタリングすることによりヒータープレートの出力を調整して、設定温度および設定流量のガスを供給する。酸素濃度は本品内のセンサーで測定するが、濃度の調整は酸素治療フローメーター等(本品に含まれない)で行う。

【使用目的又は効果】

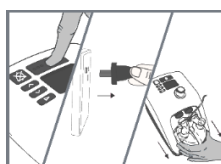
本品は吸気ライン内に加熱水蒸気を供給することによって、肺に流入するガスの湿度及び温度を上昇させる装置である。

【使用方法等】

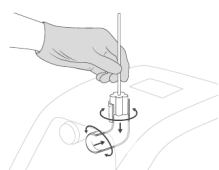
洗浄及び高度消毒を実施する際は、手袋を着用することを推奨する。

1. 洗浄

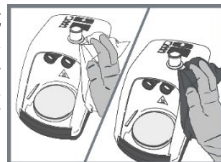
- (1)フロージェネレーターAirvo の電源を切り、商用電源から電源コードを抜く。フロージェネレーターAirvo から送気チューブと加湿チャンバーを取り外す。取り外した送気チューブと加湿チャンバーは適切に廃棄する。



- * (2)洗浄スポンジ棒を、中性洗剤を入れた温水中に浸す。フロージェネレーターAirvo の右側のチャンバー接続ポートのみを、洗浄スポンジ棒をポートの両端から回し入れて洗浄し、汚れおよび残留物を除去する。洗浄に使用した洗浄スポンジを適切に廃棄する。



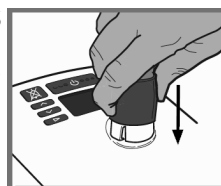
- * (3)フロージェネレーターAirvo の表面を清拭する際は、アルコールワイプもしくはアルコール液に浸した清潔なリントフリーの布を使用する。目に見える汚れ(血液や粘液など)が付着している場合は、中性洗剤を入れた温水中に浸した布を使用して、汚れおよび残留物を先に除去する。



- (4)汚れおよび残留物を除去した後、自然乾燥する。

* 2. 高水準消毒

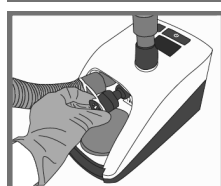
- (1)消毒チューブの青色プラスチック接続部(スリーブ)を持ち上げて、フロージェネレーターAirvo の送気チューブ接続ポートに接続し、スリーブを押し下げて固定する。



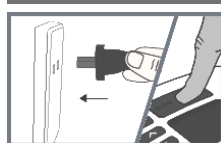
- (2)消毒チューブの赤い先端をフロージェネレーターAirvo の左側のチャンバー接続ポートに接続する。



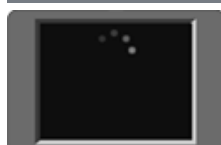
- (3)消毒フィルターをフロージェネレーターAirvo の右側のチャンバー接続ポートに接続する。



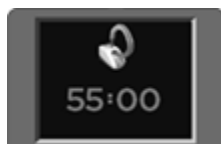
- (4)フロージェネレーターAirvo の電源コードを商用電源に差し込み、電源ボタンをピープ音が出るまで3秒間押し続ける。



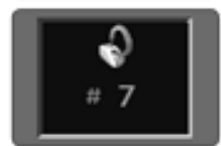
- * (5)フロージェネレーターAirvo は、校正チェックを実行する。校正チェック中は表示パネルに「暖機運転」マークが表示される。



- (6)校正が正常に完了した後、55 分間の消毒サイクルが開始される。



- * (7)消毒サイクルが正常に完了した際には、表示パネルに「0:00」と表示され、ピープ音が鳴る。また、これまでにフロージェネレーターAirvo で実行された消毒サイクルの回数が表示される。



取扱説明書を必ずご参照ください。

- ** (8)電源プラグを商用電源から引き抜き、アラーム音が120秒以上鳴り続けることを確認して、(誤って消毒ステータスをリセットしないように)消毒ボタンを押してアラームの鳴動を止め、保管する。**

*** 使用方法等に関連する使用上の注意**

1. フロージェネレーターAirvo 本体およびアクセサリ類は洗浄消毒器には対応していない。
2. フロージェネレーターAirvo 本体の左側のチャンパー接続ポートを清掃しないこと [性能と安全性を損なうおそれがあるため]。
3. 消毒フィルターをフロージェネレーターAirvo 本体の左側のチャンパー接続ポートに接続しないこと [性能と安全性を損なうおそれがあるため]。
4. 消毒チューブを使用する際は、フロージェネレーターAirvo の表面が乾燥していることを確認すること。
5. 高水準消毒中に問題が発生した場合、フロージェネレーターAirvo の表示パネルが点灯し、ピープ音が鳴る。電源を切り再起動しても問題が解決しない場合、表示されたエラーコードを書き留めて、製造販売業者に連絡すること。
6. 消毒チューブを改造しないこと。



【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 本品を使用する際は、酸素源からの酸素チューブを、フロージェネレーターAirvo の酸素吸気ポートから取り外すこと。
2. 高水準消毒中のフロージェネレーターAirvo が酸素を検出すると、表示パネルが点灯し、ピープ音が鳴り停止するので、酸素源をフロージェネレーターAirvo から切断すること。フロージェネレーターAirvo の電源を一旦切り、その後再起動させる。
3. 本品をフロージェネレーターAirvo に取り付けたり、取り外したりする際は、フロージェネレーターAirvo の電源を必ず切ること。
4. 高水準消毒中に消毒チューブもしくは消毒フィルターに触れないこと [火傷するため]。
5. 消毒チューブをシーツ、タオル、あるいは他のもので覆わないこと [本体を損傷するおそれがあるため]。
6. フロージェネレーターAirvo の表面を清拭する際に、アンモニア、水酸化アンモニウム、苛性ソーダ、ヨウ素、メタノール(メチルアルコール)、メチレーテッド・スピリット(変性アルコール)、テレピン油、アルカリ性漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸ソーダ)を含む洗浄剤は使用しないこと [ケース表面が破損するおそれがあるため]。
7. 消毒チューブの中に消毒液や洗剤を噴霧しないこと。
8. 消毒フィルターを詰まらせないこと [フロージェネレーターAirvo が故障するおそれがあるため]。
9. 本品は、販売名「フロージェネレーターmyAirvo (販売名: 22800BZX00 186000)」とも使用可能である。

<相互作用>

併用注意

本品を無菌室内もしくは生体現象計測・監視を行う医療機器のリード線の近くで使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

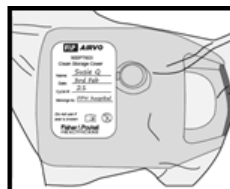
清浄保管用カバーを用いてフロージェネレーターAirvo を保管する方法



1. フロージェネレーターAirvo から消毒チューブと消毒フィルターを取り外す。



2. 清浄保管用カバーに貼付されている識別記録シールが、フロージェネレーターAirvo の表示パネルの上になるように包む。



3. 識別記録シールに消毒プロセス実施日などを記入する。



- * 4. 清浄保管用カバーの粘着タブを用いて、清浄保管用カバーを密閉し、適切な場所で保管する。

清浄保管用カバーを用いないフロージェネレーターAirvo の保管方法

消毒チューブと消毒フィルターをフロージェネレーターAirvo に接続したまま、適切な場所で保管する。



【保守・点検に係る事項】

消耗交換部品

消毒チューブや消毒フィルターが損傷した場合は新しいものに交換すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

Fisher & Paykel
HEALTHCARE

製造販売業者

Fisher & Paykel Healthcare 株式会社
電話番号 03-5117-7110

外国製造業者

Fisher & Paykel Healthcare Limited
フィッシャー・アンド・パイケル・ヘルスケア・リミテッド
ニュージーランド

[販売業者(販売店)]

取扱説明書を必ずご参照ください。